[樣式1]	平成175	年度 事 矛	务事 業 詩	平価表					
記入年月日	平成17年	4月20日	記入者	内 糹	泉 5626				
部名	保健所	課名	名 中央保健センター 課長名 鈴木豊子						
事務事業名		思春期保健事業							
予算上の事務事業名・思春期保健事業・思春期保健事業・									
1 総合計画におけ	る位置づけ		施策コード	131	20				
基本目標									
政 策 名第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます									
基本施策名第									
施 策 名 第 2 施策 子育て支援の充実 平成12年度 ▼									
2 実施根拠及び関連法令・条例等									
母子保健法第10条、相模原市母子保健事業実施要綱第2条第7号及び第9条									
3 個別計画の概要	要 概要								
	本計画は、平成14年度策定したみんな元気「さがみはらやか親子さがみはら21」								
計画年次 15		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u></u>						
4 事業形態の区分		研修·講座	▼						
5 事業概要	(何のために伝き	のかまたけまたご	こしたいび思り	1/2	7. 分数 () () ()				
` .	(何のために行う)対象(誰、何)				
思春期の身体的、精神的特徴に関する正しい知識の普及・啓発を図ることを目的とする。 赤ちゃんとふれあい体験教室・・・思春期のこどもが乳児と保護者にふれあうことにより、乳児の特徴や育児の予備知識を与え育児のイメージを広げることができ、生命の大切さを再確認し自己肯定感を育てるきっかけとする。 思春期セミナー・・・思春期保健事業の推進をはかるために、有効な方法・先駆的な活動について専門家から情報を得る機会とする。 思春期保健担当者連絡会・・・思春期保健に携わる関係機関の連絡・調整を行い、事業の円滑な推進を図る。 ピアカウンセリング・・・思春期のこどもが性に関する正しい知識が得られ、将来を通して意思決定できる能力を高められるようにする。									
(3)平成16年度	夏事業の内容(活	動)・・・いつ、	どのような方法 ⁻	で実施した内容(活動)なのか。				
赤ちゃんとふれあい体験・・・3回開催、述べ88人参加 思春期セミナー・・・「素敵な子育ち/親育ち」講師 家庭教育カウンセラー 内田玲子氏 53人、「大切な子ども達を性被害から守るために」講師 PEACE暴力防止トレーニングセンター 安藤由紀氏 22人 思春期保健担当者連絡会・・・2回開催 ピアカウンセリング・・・1回開催 31人参加 ピアカウンセラー 北里大学看護学部学生、ピアカウンセラー指導講師 北里大学看護学部 上澤悦子氏									
6 関連・類似事業や他市の状況									
県内保健福祉事務所を始めとして、他市町村でも同様のセミナー、体験教室が行われている。									
7 事業費の推移					〔単位:千円〕				
<u> 年 度 </u>		平成15年度(決算)		平成17年度(予算)	平成18年度(見込)				
事業費		128	141	151	151				
一般財源	67	128	141	151	151				
受益者負担金	0	0	0	0	0				
その他の特定財源	0	0	0	0	0				
人件費の合計		836	836	836	836				
事業コスト合計(a)		964	977 会は その中の ⁻	987	987				
8 事業効率・・・ 主たる事業名	赤ちゃんとふれる	ちい体験教室	Eたる事業) 対象名称 <mark>市内通</mark> (単位) <mark>(人)</mark>	象名称市内通学の中高生					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)				
事業コスト(主たる事業)		17	60	20	20				
対象数	36,068	35,474	34,756	34,603	34,603				
単位あたり経費(円)	0	0	2	1	1				
前年度比			3.60	0.33	1.00				

9 活動指標・・・美施した内容(活動)の数値化									
指標名 (単位) 参加人数((人)	指標式と指奏の説明	参加人数						
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)				
実績	46.0	61.0	88.0						
目標	60.0	60.0	90.0	90.0	90.0				
目標達成度	0.77	1.02	0.98						
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標									
指標名 自分を好きといえる小・中・ (単位) 高生の割合(%) 指標式と指標の説明 健やか親子さがみはらの取り組み目標に準ずる									
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)				
実績	35.4								
目標	45.0			45.0	45.0				
目標達成度	78.7								
(1) 妥当性の評価 〔A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない〕									
□ 法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。 □ 公益性が高い、または必需性が高い事業である。									
			ででは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、こ						
					できる。				
□ 税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。 (2) 有効性の評価 〔A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない〕									
<u>✓ 上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。</u>									
Ι Λ [[課題等の解決な	や市民生活に大き	く貢献している。	1					
			ら見て、期待される						
	事業の対象範囲								
(3) 効率性の評価			める余地がある	・C : 効率が悪い	1)				
	✓ 単位あたりの約								
l B		ト節減の余地がな							
□ 受益者負担や補助等の割合に問題はない。 □ 事業の実施方法や実施体制は適正である。									
(4) 民間活力の導		す・無〕	正にのる。						
(+) [[[] []] () 4			、民間で実施する	る方が経費の節洞	ばに繋がる。				
/ m			民間で実施する						
業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れていまたは全部について、民間で実施する方がサービス面で優れていまた。									
	☑ 民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。								
12 総合評価									
(1) 自動判定結果	, ,		上,中平						
		好な状態を維持す	- • • • • • • • • • • • • • • • • • • •						
	〔 〕:概ね良好な状況である事業								
〔 〕:見直しを行う必要がある事業 〔 〕:抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業									
(2) 担当課の課長	<u> </u>		3) 課長の評価に						
_	ス 拡充・充実		国のすこやか親子	2 1計画においても					
	現状維持		された重要な母子	保健の課題として	取り組むことに				
拡充・充実	見直し		いっています。思春 可移行に伴い取り組	期保健事業に関し	ては、保健所政令であり、今後教育				
	□		5月に中い取り組 5員会等と連携を深						
12 成田の白上乃									
13 成果の向上及			1 4 課題として認識されたこと 参加者の増加のための検討を行う必要がある。						
参加者の増加を図ることにより、より広く普及啓発が 参加者の増加のための検討を行う必要がある。できる。また、既存の事業を利用しながら、事業を展									
開できると効率的に開催できる。									
1 5 二次評価									
(1) 行政評価会議	による評価 (今	後の方向性) (2) 二次評価コメ	リント					
	拡充・充実		事業の啓発に努め	、事業効果を高め	る。				
1日小小小子+干	現状維持								
况从維持									
	<u> </u>								